

# バイオの大きさ / 未来の物語

ワークショップ成果展

2021  
3.12 - 4.18  
fri sun

11:00 ~ 19:00

会場 | SCARTS モールC  
[札幌市民交流プラザ 2F]

入場無料 ※3/24(水)は休館

参加者が紡いだ「物語」とふたりのアーティストの創作により、ワークショップの成果を紹介します。

++A&T(プラプラット)第4弾では、さまざまなスケールで私たちが「生きる」と密接に関わるバイオテクノロジーをテーマに、研究者とアーティストによる協働ワークショップを開催しました。参加した高校生たちは、ワークショップのなかで「他者の視点」に触れ、身近な世界に対する新たな視点からそれぞれの「物語」を紡ぎました。本展では、彼らの物語や、それらをもとにアーティストの久野志乃が制作するドローイング、映像作家の北川陽稔によるドキュメント映像等を通して、ワークショップの成果を公開するとともに、創作の背景となった2人の研究者による知見を紹介します。



イベントページへ >>>  
AWA2IH onid2 :niwng1D

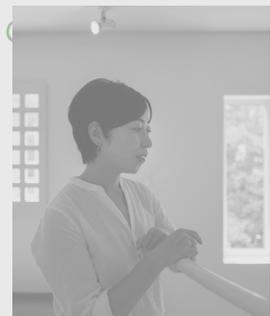
++A&T(プラプラット) -SCARTS ART & TECHNOLOGY Project- はアートとテクノロジーの関わりをテーマにアーティストや研究者とSCARTSそしてワークショップの参加者が共に創造の「場」をつくっていくプロジェクトです。

++A&T  
AWA2IH onid2  
久野 志乃



志乃は、バイオテクノロジーとアートとの関わりをテーマに、研究者とアーティストによる協働ワークショップを開催しました。参加した高校生たちは、ワークショップのなかで「他者の視点」に触れ、身近な世界に対する新たな視点からそれぞれの「物語」を紡ぎました。本展では、彼らの物語や、それらをもとにアーティストの久野志乃が制作するドローイング、映像作家の北川陽稔によるドキュメント映像等を通して、ワークショップの成果を公開するとともに、創作の背景となった2人の研究者による知見を紹介します。

Shino Kinoshita  
久野 志乃



北川陽稔は、バイオテクノロジーとアートとの関わりをテーマに、研究者とアーティストによる協働ワークショップを開催しました。参加した高校生たちは、ワークショップのなかで「他者の視点」に触れ、身近な世界に対する新たな視点からそれぞれの「物語」を紡ぎました。本展では、彼らの物語や、それらをもとにアーティストの久野志乃が制作するドローイング、映像作家の北川陽稔によるドキュメント映像等を通して、ワークショップの成果を公開するとともに、創作の背景となった2人の研究者による知見を紹介します。

ARTIST

主催：札幌文化芸術交流センターSCARTS(札幌市芸術文化財団)、北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP)  
協力：北海道大学大学院農学研究院、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター  
後援：札幌市、札幌市教育委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来場の際は、手指の消毒、マスク着用などにご協力をお願いいたします。

札幌文化芸術交流センター  
SCARTS



